



海外感染症情報

情報源：

厚生労働省検疫所ホームページ

(<http://www.forth.go.jp>) 新着情報

発生地域	更新年月日	情報内容
—	2016年04月18日	ジカウイルス感染症の発生状況（更新10）★
—	2016年04月15日	中東呼吸器症候群コロナウイルス（MERS-CoV）の発生（更新12）

★【2016年04月18日更新 ジカウイルス感染症の発生状況（更新10）】

2016年4月14日付けで WHO より発表されたジカウイルス感染症（いわゆるジカ熱）の発生状況に関する報告です。ジカウイルス感染症の発生状況は以下のとおりです。

注：この報告は、調査活動、対策活動、研究活動の3項目で構成されていますが、内容を簡潔に伝えるために、調査活動に内容を絞って掲載しています。詳細は、原文でご確認下さい。

■概要

●2007年1月1日から2016年4月13日までに、ジカウイルスの感染伝播が合計64の国と地域で記録されました。

蚊の媒介による感染伝播の発生状況は以下のとおりです。

- ・2015年以降、42か国で初めてのジカウイルスの流行が発生しています。これらの国では、以前には流行が発生した証拠はなく、現在も蚊による感染伝播が続いています。
- ・2015年以前に、17か国でジカウイルス流行の発生が報告されました。これらには、現在も蚊による感染伝播が続いている国もあれば、続いていない国もあり、2015年以降に流行の終息が報告された国もあります。

人から人への感染伝播の発生状況は以下のとおりです。

- ・現在、蚊による感染伝播のない状況において、6か国（アルゼンチン、チリ、フランス、イタリア、ニュージーランド、アメリカ合衆国）で人から人への感染伝播が起きていたことが報告されています。
- 4月13日までの週に、新たに2か国で蚊による感染伝播が報告されました。ベリーズとセントルシアです。
- ジカウイルス感染症と関係する可能性の高い、又は先天性の感染が示唆される小頭症やその他の胎児奇形が、6か国（ブラジル、カーボヴェルデ、コロンビア、フランス領ポリネシア、マルティニーク、パナマ）から報告されています。また、ブラジルに滞在していたことと関連する2症例がアメリカ合衆国とスロベニアで確認されました。
- ジカウイルスの感染が発生している状況において、13の国と地域でギラン・バレー症候群（GBS）の発生率の増加、および/またはGBS患者でのジカウイルス感染の検査確認が報告されています。
- 増え続ける予備調査の結果に基づけば、ジカウイルスが小頭症やギラン・バレー症候群の原因であるということが、学術的に一致する意見となっています。
- 世界における感染の予防と制御の戦略が、WHO によって対策戦略の基本骨格に基づき開始されました。この骨格は、調査活動、対策活動、研究活動からなり、この発生状況の報告もこれらの項目に基づいて構成されています。（対策活動、研究活動については原文をご参照下さい）

（省略）

《出典》WHO. Situation Report, Emergencies. 14 April 2016

Zika virus, Microcephaly and Guillain-Barré syndrome

<http://www.who.int/emergencies/zika-virus/situation-report/14-april-2016/en/>